



グリーンクラブだより vol.10



グリーンクラブのみなさん、こんにちは！いかがお過ごしでしょうか。
登録書類、花苗計画をお送りいただきありがとうございました。
5月末から6月はじめに夏～秋にかけての花苗を配布します。
みなさんがご近所で花を育ててくださることでまち全体の美化
が広がっていきます。今年度もよろしく願いいたします。



【配布のお花について】

今回、新しい花苗配布をしますので、ご紹介します。

● トレニア（混色） ●



初夏～秋にかけて、花を株いっぱい咲かせます。暑さに強く、花色も豊富です。

季節・日常の手入れ ポイント

草丈 10cm くらいの小苗時期に芽の先端から2節目くらいのところで芽の先端を摘むと、ワキから芽が伸びてきて花の咲く頃にバランスの良い草姿になります。花が枯れたあとや茶色くなって枯れた下葉は、こまめに摘み取りましょう。花が一通り咲き終わった頃にも同様の作業を行うと、秋にも充分きれいな花を楽しむことができます。やや湿った、水はけのよい土を好みます。土の表面が乾いたら、たっぷり水をあげましょう。

● ベゴニア・センパフローレンス（赤・白） ●



ベゴニアは世界の熱帯から亜熱帯に2000種以上が分布すると言われていています。本来は毎年花を咲かせる多年草ですが、日本では冬の寒さで枯れてしまうこともあるので、一年草として扱うことも多いです。

季節・日常の手入れ ポイント

茎葉がよく茂って混み合ってくる梅雨前に、風通しをよくするために、丈の半分くらいに切り戻すと、その後の花付きもよくなります。水をやり過ぎて根を腐らせることがあります。多湿を嫌がり、すこし乾かし気味くらいで管理したほうがよく育ちます。葉が分厚くて内部にたっぷり水を貯められるので、少々乾かしたところでしおれることはありません。乾くと葉の表面がびかびかと光沢を持つてくるので、水やりの際の目安にするとよいでしょう。

【グリーンクラブ研修会のご報告】

昨年度、1月と3月にグリーンクラブ研修会を行いました。

第1回目の研修テーマは、

- ・11月配布及び2月配布予定の花苗のメンテナンスについて
- ・古くなった土の活用方法など、土づくりについて
- ・宿根草の楽しみ方

第2回目の研修会テーマは、

- ・花壇をデザインするための基礎的な知識を学び、実際に花壇計画をしてみる
- ・5月に配布予定の花苗に触れながらメンテナンスも含めての講義

講義のあとには各団体のみなさんより、グリーンクラブの活動紹介や悩み、楽しみなど一言いただき、活動に関する思いを共有しました。

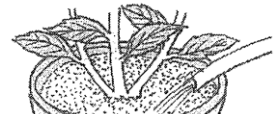
講師は、せたがやトラスト協会花とみどりの相談員で、世田谷区にあるフラワーランドで相談員をされている新宅康博先生にお願いしました。目黒区でも碑文谷公園のバラの花壇などで、長く関わっていただいています。

先生より、ぜひ行ってほしいお花の手入れについてお聞きしましたので、お伝えします。

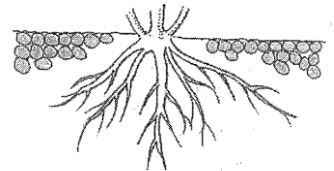
◎**中耕**◎1か月に1回は行ってほしい作業です。

目的：風雨や水やりなどで、土が硬くなってしまいます。硬くなった土は通気性や排水性が悪くなり、植物の成長を鈍らせてしまいます。中耕すると土は団粒化され、土と土の間に隙間が多くでき、酸素をたっぷりと含むようになります。通気性や排水性がよくなる上、晴天が続いても地下水が上がってきて、土壌の湿度が適度に保たれるようになります。植えているものは、根が切れることとなりますが、耕された刺激により、根は倍に増えます。

方法：根を切ってしまうので、株元は耕さないようにしましょう。移植ごてなどで、5～10cmほど耕します。



↓ 硬くなった土
を中耕すると



土は団粒化します



◎**碑文谷公園のバラ花壇**◎

毎週木曜日の午前中に活動しています。季節ごとの手入れを学べます。これからバラの季節になりますので、ぜひ遊びにいらしてください。ニラ、ミントなどを虫除けのためにコンパニオンプランツとして植えています。

活動に参加ご希望の方はみどりと公園課利用係までお問い合わせください。

ご意見・お問合せはお気軽にどうぞ

おたよりに載せてほしいこと、こんな研修会に参加してみたい、などのご意見もお待ちしています！

目黒区みどりと公園課利用係

Tel: 03 - 5722 - 9242 Fax: 03 - 3792 - 2112

Email: midori06@city.meguro.tokyo.jp

